

立哨員の心得

1. レースを“観戦”しないこと

立哨員は“観客”ではない。レースを見ずに周囲の道路を見る。危険は無いかな？

2. 携帯/スマートフォンを使用しないこと

手元の画面を見ては役立たず。その間に、気づかず事故が起きたら？命取り。

3. 一般の方の安全優先、対応・言葉遣いは丁寧に

命令調は禁物。あくまで御願い調。～(例)「まもなく自転車レースが来ます、しばらく横断お待ち下さい。」
「最終走者通過まで、もうしばらくお待ち下さい。」「どうぞ横断して下さい。ご協力ありがとうございました。」

4. 誘導タイミングを間違えない

最終オートバイ通過～先導オートバイが来るまでに、安全に誘導。スピードに注意。

5. 事故後の安全措置

事故現場に後ろから選手が追突しない様に、ホイッスルで告知。状況報告は正しく冷静に。

立哨配置位置 (@RCS行田ラウンド)

